

男声合唱プロジェクトYARO会の歴史

大合唱に憧れて！

男声合唱プロジェクトYARO会の歩んだ道

#1:2002-2003

そもそもは真夏の新潟からはじまった

2002年夏、新潟で開かれた関東おとうさんコーラス大会で持ち上がった話しがついに実現する運びとなった。小さな合唱団同志がジョイントし、いつもはなかなかできない大人数での演奏をやりたいという夢である。大学のグリークラブなどではよくジョイントコンサートがみられるが、社会人の団としてはめずらしいにちがいない。

課題はいくつかあった。とくにコンサートでの演奏時間をどれだけ短くできるかである。1回のステージで5団体の演奏に加えてメインの合同演奏をこなすにはかなりの時間が必要になる。各団20分ずつに絞ってもそれだけで1時間40分かかり、そこへ合同演奏やアンコールを加えると正味で軽く2時間を超してしまう。聴衆に負担にならないでどの時間としては、どうみても全体で2時間30分が限度である。ここでむずかしいのが各団の選曲だった。まとまった演奏をしようとする、どうしても20分でおさまるものは見当たらない。ぎりぎりの選択として、短めの組曲の一部を割愛するとか、あるいは何曲か寄せ集めてオムニバスとするなどになってしまう。各団の特色をいかに出すか、選曲のよしあしも見ものである。

男声合唱プロジェクトYARO会 5団体で設立

最初のジョイントコンサートの指揮者は、当時埼玉県合唱連盟理事長だった小高秀一先生に衆議一決した。合同演奏曲は、小高先生の意向も聞きながら関係者で調整した結果、多田武彦作曲『富士山』が一番人気で取り上げられた。見方によっては何の変哲もない曲ということかもしれないが、いややっぱ最初は『富士山』でなくてはだめだという思い入れのある人も多く、初めてのジョイントコンサートとしては、とりあえず落ち着くところへ落ち着いたという感じであった。

2002/12 下記5団体で設立〔12月決起集会 at ビアシェンケ・大宮〕

- 男声合唱団イル・カンパニーレ(川越市)
- 男声合唱団コール・グランツ(栗橋町)
- 男声合唱団ドン・キホーテ(志木市)
- 男声あんさんぶる「ポパイ」(春日部市)
- 男声合唱団メンネルA.E.C.(上尾市)

男声合唱プロジェクトYARO会 22年の歴史



2003/11/3

●第1回ジョイントコンサート開催〔埼玉会館大ホール・浦和〕

・合同演奏 多田武彦作曲/組曲『富士山』

指揮：小高秀一

・アンコール：多田武彦作曲/組曲『雨』より「雨」、宮城県民謡「斎太郎節」

http://www.ric.hi-ho.ne.jp/neo-rkato/yaro/1st_yaro_top.html



二人の大先輩からの薫陶

作曲家 多田武彦

私は1930年の大阪生まれ。戦後独学で作曲を始めた。旧制大阪高校を経て京都大学に進み、男声合唱団で歌ったり、指揮者を務めたりした。清水脩先生（故人）作曲の組曲「月光とピエロ」を歌ったのを機に、清水先生のお話を聴く機会が増えた。作曲上の技法よりも「名曲を徹底分析して、その作曲家の秘法を盗め」とか「歌曲や合唱曲を作曲する時は、詩自体に音楽のある詩を厳選し、これに寄り添うように作曲しろ」などの教示が多かった。卒業後は、サラリーマンになった。作曲も止めようかと思ったが、清水先生から、「日曜作家」を勧められた。

清水先生に最初に見てもらったのが、1954年に作った組曲「柳河風俗詩」。しかし先生の批評は厳しく「もっと力強い男声合唱を書け！」だった。こうして、1956年に作曲したのが組曲「富士山」である。

もう一人は、この「富士山」の詩人、草野心平先生（故人）。「富士山」を作曲した時には、草野先生にお会いする機会がなかった。1968年に、組曲「北斗の海」の標題を頂いたあと、所沢市秋津のご自宅を退出する時、犬の散歩かたがた、駅の途中まで見送ってくださった。

私が辺りの武蔵野の風情を讀えると、先生は、それには答えようとされず、路傍に咲く雑草の花を見るように勧められた。そして、「このように誰にも見られないような雑草の花でも、それだけをつぶさに観察しているというしか、武蔵野の風情は消えて、この花の持つ風情や魂を感じ取ることが出来る。欠けた茶碗に描かれた葦の葉一枚にも詩情を感じることが大切。」と話された。森羅万象一つ一つの特質を大切にせよとの教示であった。 # b ♯

演奏会のご成功と、各位の益々のご活躍を心からお祈りする。

多田武彦
2003年9月22日
Xマシーンも同封します。両巨匠とのエピソードを内容として、たいへんすれも、小生の後、作曲活動に励み、よろしく、なすはあしうせまひ。

プログラム

1st Stage

ドン・キホーテ男声合唱団

指揮：村上 弘

「日本民謡」より

- 1 大漁祝い（福島県民謡）
作曲：清水 脩
- 2 牛追い唄（岩手県南部地方民謡）
作曲：清水 脩
- 3 ホーハイ節（青森県民謡）
作曲：小倉 朗
- 4 音戸の舟唄（広島県民謡）
編曲：福永陽一郎
- 5 島唄
作詩・作曲：宮沢和史
編曲：多胡 淳・村上 弘

2nd Stage

男声合唱団イル・カンパニーレ

指揮：小高 秀一
ピアノ：野島万里子

「古典イタリア歌曲集 男声合唱曲」より

- 1 Amarilli, mia bella
作詩：G.B.Guarini 作曲：Caccini
- 2 Già il sole dal Gange
作詩：F.Parnasso 作曲：A.Scarlatti
- 3 Ombra mai fu
作詩：N.Minato 作曲：Händel
- 4 O del mio dolce ardor
作詩：R.D.Calzabigi 作曲：Gluck
- 5 Piacer d'amor
作詩者不詳 作曲：Martini

3rd Stage

男声合唱団コール・グランツ

指揮：鎌田弘子

無伴奏男声合唱組曲

「今でも…ローセキは魔法の杖」より

作詩：柴野利彦 作曲：遠藤雅夫

- 1 溢れる泉は日々を巡り
- 2 道路は巨大なキャンパス
- 3 爽やかなレモンの風は
- 4 深い眠りに包まれて
- 5 明るい光に満ちた季節は惑いを止め

4th Stage

男声合唱団メンネルA.E.C.

指揮：須田信男

ピアノ：永井陽子

ウッドベース：宗像博義

ドラム：野瀬寛彦

ポップス・アラカルト

「関白宣言…そして失脚ああこれって人生？」

- 1 東京砂漠
唄：内山田洋とクールファイブ 編曲：藤原武司
- 2 関白失脚
唄：さだまさし 編曲：渡辺公男・須田信男
- 3 人生半分
唄：湯原昌幸 編曲：平井宏尚
- 4 コンサート
唄：嘉門達夫 編曲：渡辺公男・須田信男

5th Stage

男声あんさんぶる「ポパイ」

指揮：大岩篤郎

「Sea Shanty」より

- 1 Swansea Town (English Sea Shanty)
編曲：A.Parker&R.Shaw
- 2 Blow the Man Down (English Sea Shanty)
編曲：A.Parker&R.Shaw
- 3 Rolling Home (English Sea Shanty)
編曲：北村協一
- 4 Haul Away, Joe (English Sea Shanty)
編曲：A.Parker&R.Shaw
- 5 Sailing Sailing (English Sea Shanty)
編曲：Osaka Men's Chorus
- 6 Shenandoah (American Sea Shanty)
編曲：A.Parker&R.Shaw

6th Stage

合同演奏

指揮：小高秀一

男声合唱組曲「富士山」

作詩：草野心平 作曲：多田武彦

- 1 作品第壹
- 2 作品第肆
- 3 作品第拾陸
- 4 作品第拾捌
- 5 作品第貳拾壹

●ドン・キホーテ男声合唱団（志木市）

指揮者：村上 弘

京都大学法学部卒業。合唱法・指揮法を平田勝氏に師事。中学3年夏の運動部引退後、合唱を開始。兵庫県立神戸高校（3年時に学生指揮者）、大学在学中は神戸中央合唱団で本格混声合唱にどっぷりとつかう。その間、両団体の全日本合唱コンクール連続金賞受賞を体験する。卒業後銀行に勤務、職場内の合唱部に所属。関西転勤時の神戸中央合唱団復帰ののち、勤務が再び東京に戻ってからは、居住地志木市のドン・キホーテ男声合唱団で、誕生間もない時期より副指揮者・指揮者として活動。また恵比寿でのサッポロビールのメセナ活動ガーデン・プレイス・クワイヤには設立時より参加、ベース・パートリーダーを経て、近時は団長を務めた。三井住友銀行業務監査部勤務。

1992年12月発足。団員数21名(03/11/1現在)

練習日：第1・3・5土曜日18:00~21:00 志木第三小学校

第2・4土曜日14:00~17:00 志木ニュータウン内集会所

問合せ：村上弘 048-476-4895

URL：http://shinjuku.cool.ne.jp/donki/

団員の6割が合唱未経験者、30代から70代までの年齢構成、多彩な職業から発する音色も実にバラエティに富む。ア・カペラ曲中心のレパートリーで「心を合わせ声を合わせる」「楽しい合唱」がモットー。定期演奏会は過去5回開催。地元でのOne Coin Concert、

商店街コンサートや市のサマー・クリスマスコンサート、敬老会等には欠かせぬ存在。県合唱祭、関東おとさんコーラス大会出演、近隣各市の合唱祭招待演奏の他、おかあさんコーラス関東大会特別演奏、県ヴォーカルアンサンブルコンテスト（銀賞受賞）等の活動実績がある。ボランティア活動も盛んで、県立総合リハビリテーションセンター8回、老人保健施設訪問等を継続している。

Top.Tenor：芦田舜三 片岡教満 金子昌史 吉元敬一朗
2nd.Tenor：秋本尚彦 榎本康治 史陀俊昭 清水忠志
宮澤正安
Baritone：池田邦夫 平田泰敏 松本征史郎 村田七郎
山口裕康
Bass：小田部尚 仙波怡吉 塚本地方 西本博志
松枝繁生 村上 弘 森下竜一



●男声合唱団イル・カンパニーレ（川越市）

指揮者：小高秀一

埼玉大学教育学部音楽科卒業。発声法を大谷列子氏、指揮法を牧野統氏、桜井将喜氏に師事。独唱・オペラ等各種演奏会に出演。教職に携わったから、学生、一般合唱団等を指導する。県立川越高校音楽部を全日本合唱コンクール全国大会・NHK合唱コンクール全国大会に、川越牧声会（川越市）を全日本合唱コンクール全国大会に導く。川越市合唱連盟会長、埼玉県合唱連盟顧問、県高校音楽教育研究会顧問、川越市文化団体連合会副会長、日本合唱指揮者協会会員、川越フィルハーモニー管弦楽団顧問、元県立芸術総合高校校長、私立埼玉平成中学校校長。川越牧声会（川越市）、女声コーラス「秀麗」（和光市）、鶴ヶ島混声合唱団「ステラ」（鶴ヶ島市）、飯能市民合唱団、川越女子高弦楽オーケストラ部等を指導。

1984年発足。団員数17名（03/11/01現在）

練習日：毎週金曜日20:00~21:30 第2日曜日14:00~17:00

練習場所：川越・上福岡市内公民館など

問合せ：宇佐美平和 049-222-5053

URL：http://www.kit-hi-ho.ne.jp/kubo/

イル・カンパニーレは時を告げる「鐘の塔」（イタリア語）を表す言葉。川越市に産声を上げてから、早20年が過ぎようとしている。子供が大人に、大人は中年に、中年は熟年に成ってゆく年月

であるが、我が団の面々は、相も変わらず子供っぽさや茶目っ気が残りに、なかなか熟成がうまく行かぬ様子。これも、指揮者自らが先んじているからだとは、本人の弁である。特徴は、①男性しか入れない（声さえ男なら…）②年齢制限なし ③頑張っで参加しようとする人（たとえ来られなくとも）ばかり ④ネットで「イル・カンパニーレ」と検索すると楽しいページがいっぱいある ⑤入りたい人には「歓迎会」が用意されている ⑥指揮者は小高秀一 ⑦様々な団内サークル活動がある（ICBA ICMA ICGA ICDA）【イルカン・ドリンクの集い（ICDA）は、ほぼ全員が顔を揃える一番人気のサークル活動】

Top.Tenor：宇佐美平和 岡本直久 金子高広 松本千尋
2nd.Tenor：小林 正 角田 剛 野田正幸 細田 潤
Baritone：伊藤孝雄 石原光昭 正木一弘
Bass：小澤 誠 大石昭則 金山英司 久保直樹
高橋正厚 橋本英豪



●男声合唱団コール・グランツ（栗橋町）

指揮者：鎌田弘子

東京芸術大学作曲科卒業。作曲を下總皖一氏に師事。埼玉県文化奨励賞、埼玉県文化としび賞、彩の国下總皖一童謡音楽賞、埼玉県合唱連盟尾花賞、各賞を受賞。元白鷗女子短期大学教授、同大学付属幼稚園園長、（株）白元 元会長夫人。

現在、栗橋町総合文化会館館長、埼玉県合唱連盟顧問。かまだ音楽センター主宰。女声合唱団ヴォーチェ・ピアンカ、男声合唱団コール・グランツ、女声合唱団ビノキオ、女声合唱団イリス（以上、栗橋町）、女声合唱団アンサンブル・ドルチェ（栃木市）、女声合唱団セルバティーカ（大利根町）、女声合唱団アマビール（古河市）の7団体からなる「ファミリーひろ」を主宰。

1988年11月発足。団員数19名（03/11/01現在）

練習日：第2・3・4土曜日 18:30~21:00

練習場所：鎌田音楽センター

問合せ：土岐一俊 0480-43-0251

URL：http://www.max-hi-ho.ne.jp/rkato/

15年前、鎌田先生が主宰する女声合唱団「ヴォーチェ・ピアンカ」の殿方を中心として誕生する。コール・グランツとはドイツ語で「高貴な、輝かしい合唱団」という意味。鎌田先生の暖かくて思いやりのあるご指導で、常に格調高い音楽表現を目指しレッスンに励んでいる。また練習後は楽しい飲み会で和気藹々と盛上

り、音楽談義に更に華が開いている。県合唱祭、町合唱祭、おとさんコーラス大会、ヴォーチェ・ピアンカ創立30周年記念ジョイントコンサートなどへ出演する。

Top.Tenor：石黒憲司 野口享治 山名勝男
2nd.Tenor：江橋幸次 加藤良一 土岐一俊 星野英明
Baritone：伊藤 昭 笠井利昭 田淵厚行 森下智晴
Bass：池尻泰三 島野 了 田村邦光 土田耕太郎
永堀健哉



●男声合唱団メンネルA.E.C. (上尾市)

指揮者：須田信男

東北大学経済学部卒業。指揮法を福井文彦氏、合唱法・指揮法を岡崎光治氏に師事。在学中、東北大学男声合唱団正指揮者、NHK仙台放送合唱団に在籍。その他市民混声合唱団、おかあさんコーラス等の指揮・指導にもあたる。卒業、就職後は2年あまり在京合唱団に籍を置き定期、海外公演にも参加したが業務多忙により中断。99年男声合唱団メンネルA.E.C.の発足とともに合唱活動を本格的に再開。川崎重工業（株）東京本社勤務。

1999年1月発足。団員数21名（03/11/01現在）

練習日：月3回日曜日 16:00～19:00

練習場所：上尾幼稚園・ソニックシティ練習室など

問合せ：西嶋清実 048-781-3597

URL：http://www.geocities.co.jp/MusicHall/9410/

We are the MUSIC MEN!! わが団は「楽しく歌うためのメンバーシップの強化」と「表現力を磨くための厳しい訓練をいわず日々努力する」をポリシーとし、常任指揮は置かず、団員同士で全ての活動をおこなっている。団員より選出された指揮者3人により繰り広げられるメンネルのレパは、クラシックから黒人霊歌、邦人曲、はたまた打楽器入りのポップスまでと多彩に富む。団員は20代から70代まで幅広く、さながら歌い手の梁山泊のごとし。論客ぞろいでもとまるのまとまらないのって、最後にはまとまるんですけど

ね、結局。

Top.Tenor：荒井光昭	国田武邦	渋谷雅文	鈴木弘一	森 浩
2nd.Tenor：秋山公雄	尾方健三	河井敏一	小沼達也	佐藤和男
	平井宏尚			
Baritone：阿部誠之	上南哲実	西嶋清実	宮嶋信男	渡辺邦典
Bass：須田信男	武内久明	武笠一男	森下竜一	吉野雅昭
	西 弘光	谷川恵哉		



●男声あんさんぶる「ポパイ」(春日部市)

指揮者：大岩篤郎

イタリア国立ボローニャ音楽院卒業。指揮法を高階正光氏（斎藤秀雄メソッド継承者）に師事。的確なバトンテクニックと音楽に対する真摯な取り組み、高い音楽性には定評がある。また、テノール歌手としてオペラ、第九や宗教曲のソリストを務める他、多くの音楽番組にも出演。日本人には珍しいキャラクター・テノールとして独自の地位を築いている。今秋にはルーマニア国立音楽大学より招聘され、1週間の指導、そしてコンサートに客演指揮を務めて帰国したばかり。来年も2つの大学よりすでに招待を受けている。埼玉県合唱連盟副理事長、春日部市合唱連盟理事長、藤原歌劇団正団員、東京室内歌劇団会員、日本演奏連盟会員、中国河南職業技術学院大学名誉教授、中奥維也納音楽分院名誉教授。小金井女声合唱団（小金井市）、コーラル・クローバー（春日部市）、コーラさくらだ（鷺宮町）、女声アンサンブルOLIVE（越谷市）、三郷市民合唱団（三郷市）、女声合唱ふれすかみさと（三郷市）等を指導。

1992年2月発足。団員数18名（03/11/01現在）

練習日：月2～3回日曜日 17:00～20:00

練習場所：Ohiwa Edukativa Stanza 問合せ：伊藤博行 048-958-8405

URL：http://www.geocities.co.jp/MusicHall/3915/

大岩篤郎を父、大岩誓子を母として誕生。男声合唱の魅力と酒にどっぷりとはまり、30代から70代までの仲間が、日曜日の夕方に

さっそうと練習会場へ集まる。主なレパートリーはSea Shanty、黒人霊歌、民謡、合唱組曲など。県及び市合唱祭、おとうさんコーラス大会等への出演、単独演奏会を2回開催する。埼玉県ヴォーカルアンサンブルコンテスト（2001年～2003年）では3年連続入賞するなど、従来のパワーだけの演奏から繊細かつ緻密な演奏を目指してレベルアップを図っている。

Top.Tenor：外越照仁	高石勝己	永島賢一郎	
2nd.Tenor：小島栄二	斎藤映二	塩崎 覚	関根盛純
Baritone：赤瀬 徹	伊藤博行	鈴木康之	行木友一
	山崎 徹	横山 豊	
Bass：伊藤順正	小川 豊	大島誠一郎	佐野幸雄 島原信行



●男声合唱プロジェクトYARO会紹介

2002年10月発足。埼玉県内の5つの男声合唱団から組織。2002年8月の関東おとうさんコーラス大会（新潟県小出郷）の懇親会でのこと。酒を酌み交わしているうちに、たまには大人数の男声合唱をやろうか、ジョイントコンサートでも仕掛けて、社会で日々奮闘している健気なおやじ達による質の高い男声合唱を、埼玉の地に響かせてみようではないかという話が一気に盛り上がり、あれよあれよという間にジョイントコンサートの企画が実現する。「総勢100名の男（ヤロー）どもが、ひとつデッカいことやっただろうかい！」ということで「YARO会」と名づける（名付け親は男声合唱団コーラル・グランツの野口享治さん）。今後は継続的なジョイントコンサート開催、賛助出演、ヴォーカルアンサンブルコンテスト参加などを密かにもくろんでいる。

URL：http://www.max-hi-ho.ne.jp/rkato/Document/yaroukai/yaroukaitop.htm

役員紹介（○事務系 ●技術系）

実行委員長：ドン・キホーテ

事務局：メンネルA.E.C.

会計：ドン・キホーテ

広報：ポパイ

渉外：コーラル・グランツ

メンバーシップ：イル・カンパニーレ

塚本地方

○森 浩

○史陀俊昭

○伊藤博行

○加藤良一

○野田正幸

○平田泰敏

○関根盛純

○土岐一俊

●須田信男 ●平井宏尚（2nd.Tenorバートリーダー）

●村上 弘（Bassバートリーダー）

●行木友一（Baritoneバートリーダー）

●野口享治（Top.Tenorバートリーダー） ●森下智晴

●宇佐美平和（Top.Tenorバートリーダー）



男声合唱プロジェクトYARO会の歴史・Top

http://www.ric.hi-ho.ne.jp/neo-rkato/yaro/yarokai_no_rekishi.html

2025年10月13日

男声合唱プロジェクトYARO会 加藤良一